

BLOG

お申込みは
こちらから



第4回 DX事業化に向けて

DXによる ビジネス価値創出

2021年 **10月29日**(金)

 **18:00~19:30**

Zoom (リアルタイム配信)

タイムスケジュール

18:00~18:40 講演 1

18:40~19:20 講演 2

19:20~19:30 まとめ

WEBSITE

データサイエンスは「サイエンス」として研究がスタートした。研究に必要な人財は高度な数学知識に長けたデータサイエンティストであり、その存在は大変希少である。しかしデータサイエンスを「ビジネス」に応用するにはさらに多岐に渡る人財が必要になる。データサイエンスではデータの前処理/分析/検証に重きが置かれがちであるが、「ビジネス」に展開するためにはその前後の工程こそが重要である。

本セミナーではデータサイエンスの標準サイクル(CRISP-DM)に即して、分析前に経営者とデータサイエンティストの橋渡しの役割を果たす「デザイン・シンカー」と、継続的な価値提供の要である分析後の「運用」の2点に的を絞って概論する。データ分析の前後を担う人財さえ社内であれば、社外のデータサイエンティストに分析を依頼することでデータサイエンスを事業化することができる。つまり、希少なデータサイエンティストを必ずしも自社に抱えておく必要はなく、データ分析については大学との共同研究や、専門企業に依頼するという道もあるということである。

本セミナーでは、「デザイン・シンカー」および「運用」面での解説を、RIDXの法人正会員である(株)日立システムズおよび(株)eftaxがそれぞれ務める。参加者の皆さまにおかれては、継続的なビジネス価値の提供を見据えたデータサイエンスの事業化に向け、大学の研究者や専門企業と連携する道の具体化の一助となれば幸いである。

主催



一般社団法人
デジタルトランスフォーメーション研究機構

共催：神戸大学 数理・データサイエンスセンター

後援：公益財団法人 新産業創造研究機構
神戸商工会議所

 <https://ridx.jp>

 office@ridx.jp

 080 7724 2365

第4回 DX事業化に向けて (DXによるビジネス価値創出)

講演情報

講演1 DX実現のプロセス (デザイン・シンカーの役割)



【講演概要】

企業におけるDX推進では、データサイエンスの標準サイクル (CRISP-DM) に即して、経営者とデータサイエンティストの橋渡しの役割を果たす「デザイン・シンカー」の存在が重要である。その役割を事例紹介を通じて明確にし、必要もしくは期待されるスキルについて解説する。

【講演者略歴】

2012年 名古屋大学大学院多元数理科学研究科 博士前期課程 修了
システムエンジニアとしてITシステム開発に従事。
2018年～ データサイエンティストチームに参画。
データサイエンティストとして、データ活用を実現するAIシステム開発に従事。
現在は、データサイエンス業務の遂行に必要な実践的スキルを社内外に展開するべくデータサイエンス講座の講師も務めている。
また、日立グループ内において、データサイエンス活用事業を支える中核人財として認定を受けている。

森田 素氏

株式会社 日立システムズ
(RIDX会員)

講演2 機械学習システム運用に必要な観点～ PoCで終わらせないために



【講演概要】

機械学習モデルは作って終わりではない。システム化して運用し、継続的にビジネス価値を提供して初めて意味がある。プロジェクト当初から運用を見据え、どのような観点到に気を付けなければならないかを概観する。

【講演者略歴】

2003年・東京大学文学部卒業後、事業会社にて経営企画等に従事。
2012年より税理士事務所での勤務と並行し、2013年に株式会社eftaxを設立。
社会人向けデータ分析人材育成事業、AI・IoTシステムの受託開発、データ分析コンサルティング事業等を展開。
画像処理や自然言語処理、時系列データ解析などクライアントの依頼に応じ、さまざまなAI・機械学習プロジェクトのマネジメントを経験。
2020年10月よりNEDO事業カタライザー。
大学発AIスタートアップ数社のメンターを務める。

中井 友昭氏

株式会社eftax
(RIDX会員)
代表取締役

申込・お問合せはこちらまで >>>

一般社団法人
デジタルトランスフォーメーション研究機構

Mail:office@ridx.jp

